

建築確認評定センターのフロアリニューアル (Cegスペースと顧客応接スペース)

1. リニューアルについて

2022年2月～9月にかけて、お客様へのサービス向上と多様な働き方への対応を目的とし、建築確認評定センターのフロアリニューアル（①Cegスペース（執務空間内打合せコーナー）設置 ②顧客応接スペースのレイアウト変更）を行いました。

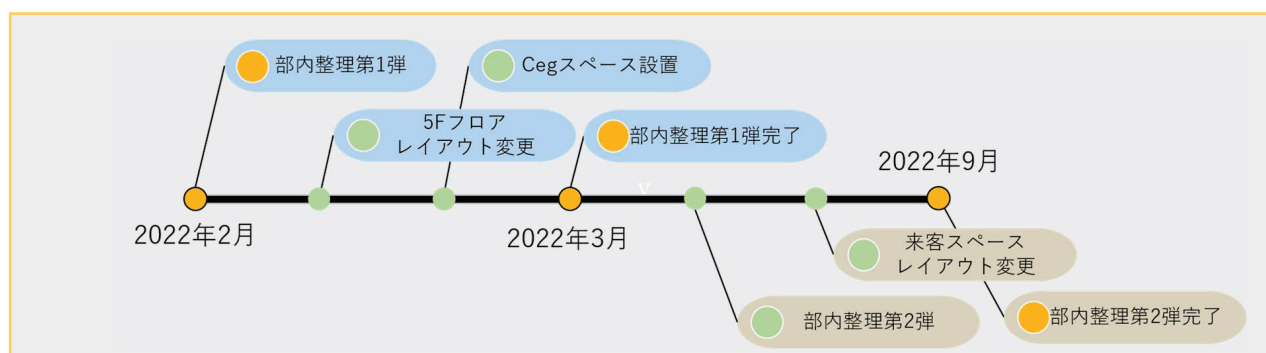


図-1 リニューアルの全体工程

2. 計画コンセプト

①Cegスペース設置

Cegは、「一見誰でも思いつきそうなことでも、それを最初に考えたり行動したりすることの至難さ」を意味する「コロンブスの卵 (Columbus'egg)」から由来しており、大阪事務所5Fの「行動、話題、発想の転換の場」にしようとの思いからネーミングされました(図-2)。

Cegスペースは、3課（性能評定課、建築確認検査課および業務管理課）の執務スペースの中間に配置し、ハイテーブルを用いることで、軽く腰かけた状態や、スタンディングで気軽に課を跨いだ打合せができるコミュニケーションスペースです(図-3)。また、昼食やカフェスペースとしても活用しています。ここでは、パソコンやiPadの画面をモニターで共有しながらの打合せや自席以外でリラックスしながらアイデアを案出するなどペーパーレス化やフリーアドレス化などの働き方の多様化を推進できるように計画しました。

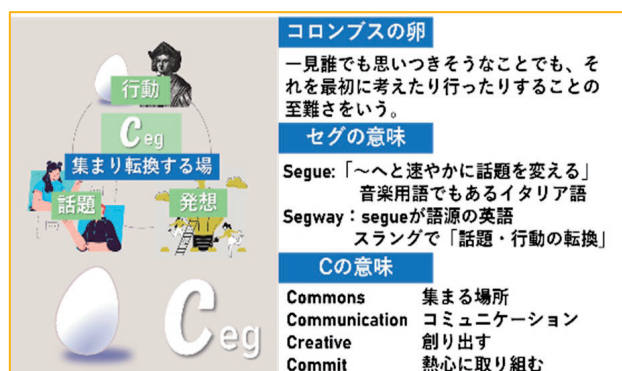


図-2 Cegの名称由来

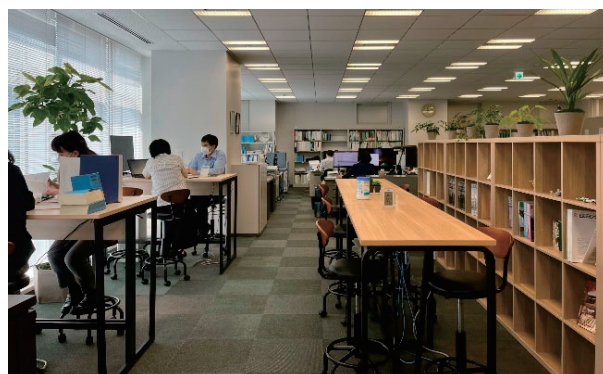


図-3 Cegスペース利用の様子

②顧客応接スペースのレイアウト変更（図-4、図-7）

新たな顧客応接スペースを、「同じ方向・目的に向かって進める」「お客様のための」の意味を込めて「Forスペース」として、明るくオープンなスペースを目指しました。Forスペースでは、待ち時間を有意義に過ごしていただけるよう、お客様同士で事前の打ち合わせや準備を行ったり、デジタルサイネージや機関誌を通じてGBRCの最新情報を知っていただくなど、リラックスして待ち時間を調整できるスペースです（図-5、図-6）。また、クローズドした打ち合わせが必要な場合に利用できる会議室を併設したり、会議室と打ち合わせブース内はCegと同様にパソコンやiPadの画面をモニターで共有しながらの打ち合わせをできるようにするなど様々な使用目的に対応可能で、お客様との充実した打ち合わせに繋がるように計画しました。

（性能評定課 前山 航）

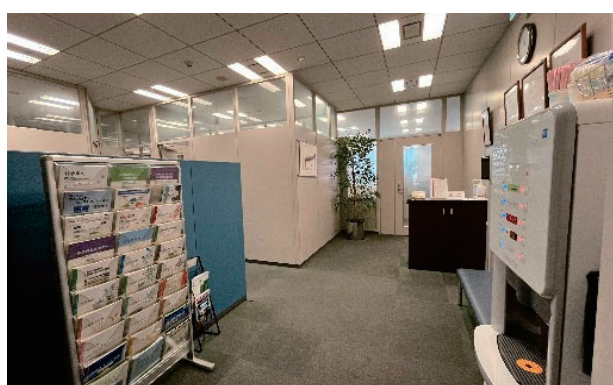


図-4 顧客応接スペース（左：リニューアル前、右：リニューアル後）

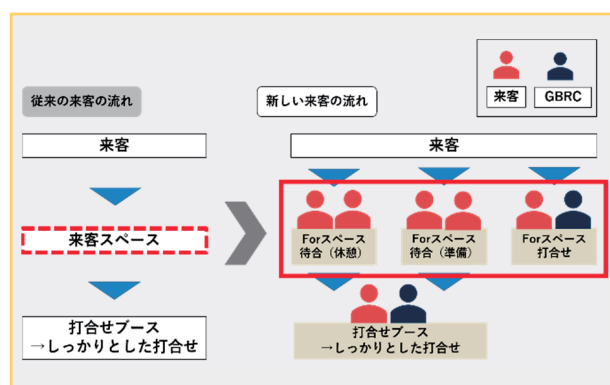


図-5 Forスペース計画コンセプト



図-6 Forスペースの様子



図-7 フloorリニューアル後平面図